



料金別納郵便

平成28年9月15日(木)~10月8日(土)

日・月曜 休廊

正午~午後6時(最終日は5時まで) 入場無料



ギャラリーさわらび

104-0061 東京都中央区銀座1-9-8 奥野ビル2F

Tel 050-3635-3001 Fax 03-5159-0041

e-mail: tanaka@gsawarabi.com

http://www.gsawarabi.com

● 昭和7年建築の旧銀座アパートメント(奥野ビル)2階です

木村 浩之 &lt;深秋&gt;

——角力国家ノ元氣ヲ養フ—— 木村浩之展 日本画と力士像

「相撲の所作には、自然への感謝や、国の繁栄を願う思いが込められている。日本の文化が凝縮されている」。そう語る画家が描く動機は、単なる私的趣味ではない。日本人としての源流を神事たる相撲に見ることで、自らが今ここに在る理由、その意味、それへの感謝、そして感激の中から自らの役割に気付き、遂行しているのである。根を知ること、今を生き、普遍の美をもとめ続けている。角界では昨年今年と、北の湖、千代の富士という大横綱が、早過ぎる帰幽をされた。この展覧会が、「たましずめ」、そして生者の魂を奮い立たせるといふ意の「たまふり」ともなりますように。「角力養國家之元氣」(「角力国家ノ元氣ヲ養フ」とは、角聖常陸山の言葉である。常陸山の公の精神は、国技としての相撲を確かなものとした。常陸国の鹿島神宮に祀られる建御雷神(タケミカヅチノカミ)は、相撲の起源の神でもあるが、画家が本年この地を訪れ、インスピレーションを受け制作された作品も本展では展示される。「画家の公の精神、その「元氣」に触れていただければと思います。ご高覧くださいますよう、ご案内申し上げます。 田中壽幸